

平成28年度岡山市市民協働推進モデル事業報告書

実施団体	団体名	プラウド岡山（担当者 鈴木富美子）				
	合同実施団体					
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	岡山市教育委員会事務局指導課		電話	086-803-1621	
	担当者	職名	人権教育室 室長		職名	
		氏名	河合浩一		氏名	
	課名	岡山市女性が輝くまちづくり推進課		電話	086-803-1115	
	担当者	職名	課長補佐			
		氏名	石原加恵			
	課名	岡山市人権推進課		電話	086-803-1070	
	担当者	職名	主事			
		氏名	林原理人			
事業の名称	学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業 ～教職員、児童・生徒から地域社会への啓発に向けて～					
本事業により解決を目指した課題とその成果	<p>○解決を目指した課題</p> <p>「主に岡山県内の当事者を対象とした学校生活に関するアンケート調査」（平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業、以後「アンケート調査」と表記）結果から、性的マイノリティ当事者が、人と違う自分に気づき、セクシュアリティという概念を知り、自己受容する一連の過程は、人格形成やアイデンティティ確立の重要な時期である児童期・青年期に重なることがわかった。自己肯定感を育むべきこの時期に、正しい情報も理解者もなく、精神的孤立感を抱えて自己否定に至る当事者は少なくない。</p> <p>一方で、セクシュアリティにおける多数派の人たちは、マスメディア等で取り上げられる極端なステレオタイプしか情報がなく、自身の認識の誤りにも身近な性的マイノリティの存在にも気づかないまま、消極的加害者となりがちである。</p> <p>性的マイノリティ当事者の自己否定や生きづらさと、非当事者（教師・親も含む）による誤解や偏見は、性の多様性を学ぶ機会を誰もが与えられずにいたことに起因する。すべての人が多様な性について知る機会を設けることが急がれるが、現段階では、すべての児童生徒に対して最も影響力のある教職員が性の多様性についての理解を深めることが喫緊の課題である。</p> <p>○成果</p> <p>教職員用パンフレットと一般啓発用パンフレットを作成・配布した。配布直後から職場や団体内で配布したいという問い合わせ寄せられ、学校や教育委員会、行政機関、公民館等から「性の多様性」「性的マイノリティの人権」に関する研修の機会をもちたいという依頼も受けている。性的マイノリティの生きづらさは、特に教育や行政に関わる人たちには重要な人権課題として認知されつつあり、多くの人が正しく学ぶ機会を求めていると感じる。</p> <p>教職員パンフレットは岡山市教育委員会が、一般啓発用パンフレットは岡山県人権施策推進室がそれぞれ増刷を決定しており、今後さらに活用されることが予想される。これによって、性は多様であることをより多くの人々が知ることができ、誰もが自分らしく生きられる社会の実現に近づくものと考えられる。</p>					

<p>市と協働した内容 と協働の効果</p>	<p>1. 団体が果たした役割 当事者グループの強みを生かして声を上げられない当事者の声を集め、教育現場や行政機関等に伝えるとともに、生きづらさを抱える児童生徒や保護者の居場所づくりに努めた。</p> <p>2. 岡山市の担当課等が果たした役割 岡山市教育委員会、および、人権推進課や女性が輝くまちづくり推進課からそれぞれの立場で、また一般市民感覚の疑問・意見・助言等を出してもらったことで、パンフレットやパネルがよりわかりやすい内容になった。</p> <p>3. 協働した効果 成果物に対していわばお墨付きをもらったような形になり、市民の信頼度が上がったと考えられる。すでに成果物が配布された教育機関・組織・地域からも「わかりやすい」と好評で、一般市民向けパンフレットは岡山県人権施策推進室で増刷され、教職員向けパンフレットも岡山市内の全教職員に配布されるため岡山市教育委員会が増刷された。</p>
<p>事業の内容</p>	<p>1. 教育現場対象</p> <p>a. 教職員用パンフレット「先生に知ってもらいたい多様な性」作成・配布 (添付資料「先生に知ってもらいたい多様な性」)</p> <p>教職員用パンフレット作成にあたっては「性的マイノリティとは何か」の解説に終わることなく、人の性は多様であり教職員自身もその中の一人であると捉えられるようなものとした。さらに、当事者児童生徒を「性的マイノリティ」という枠で捉えてマニュアル的な対応でよしとされることを避けるため、当事者一人ひとり悩みや願いは異なること、思いに寄り添うことが重要であることなどを読みとってもらえるよう、アンケート調査で得られた回答を中心に構成し、回答者のセクシュアリティも一部に偏ることのないよう配慮した。</p> <p>事業と並行して、県内のいくつかの小・中・高等学校から教職員研修の講師依頼を受け、研修後にアンケートを実施した。(参考資料「先生方の意識調査」)</p> <p>この調査によると、現段階では、すべての教職員が性の多様性を正しく理解しているとは言い難く、性的マイノリティへの誤解も大きい。しかし、研修後の感想には「すべての教師が知らなければいけない課題である」「思い当たる児童生徒がいた」「教師に何ができるだろうか」などがあり、性の多様性への気づきが教職員の自発的な研鑽や取り組みにつながる可能性を感じさせる。</p> <p>本事業で作成したパンフレットを教職員研修等で活用してもらうことで、多様性を認め合う環境づくりが活性化することが期待できる。</p> <p>b. 当事者児童生徒と保護者、教職員向けサロン (添付資料 サロン実施報告書)</p> <p>当事者児童生徒の多くは、同じような悩みをもつ人が身近におらず将来像も見えないために不安を抱えている。そこで児童生徒とその保護者を対象とし、プラウド岡山の当事者から経験談を聴いたり相談したりできる場(サロン)をもった。</p> <p>参加者数は継続2組の親子のみであった。その原因として当事者や保護者に情報が伝わらなかったことが考えられる。そもそも性的マイノリティ支援の難しさの一つは、本人自ら表明できないことにある。学校としても現状では効果的な広報の手段がなく、当事者側もそれを受け取りにくい状況にある。支援や情報を求めているが表明はできない当事者児童生徒に対し、どのような情報提供の手段があるか、今後検討していくべき課題であろう。</p> <p>8月の教職員向けサロンには、主に市外の教育委員会や学校から多くの参加者があった。社会や家庭での理解が深まっているとは言い難いこの時期に、学校で性の多様性を児童生徒にどう教えていけばよいか、教職員と当事者それぞれの立場から意見が出され、有意義な討論となった。</p> <p>c. アンケート調査報告会 (添付資料 報告会写真、実施報告書)</p> <p>アンケート調査結果の報告会を開催した。主な対象は教職員・行政職員としたが、日曜日の開催であ</p>

<p>(第2号様式)</p>	<p>ったため岡山市内の教職員の参加は3名のみであった。行政職員や市外の教職員の参加を得て、当事者児童生徒の困り感や教職員に望まれることなどを、当事者の体験談を交えて報告し、会場からは保護者や教職員から意見が出され、今後の支援や取り組みを考える場となった。また、当日は本事業で作成したパネルを会場に展示し、他の自治体の教育委員会からの依頼で後日貸出展示した。</p> <p>この報告会の様子はオニビジョンが取材・撮影・放映し、つながる協働ひろばでも公開されている。</p> <p>2. 一般市民対象</p> <p>a. 一般市民啓発用パンフレット「多様な性を知ろう」作成 (添付資料 「多様な性を知ろう」)</p> <p>当事者児童生徒の置かれた状況の中で、他のマイノリティよりも苛酷であると思われる一面は、家庭内での孤立である。親も性の多様性を知らず性的マイノリティへの偏見をもっていることから、我が子のあり方を受け入れるだけの心の準備がないことが多い。親に相談できずにいる子どもの多さは、アンケート調査結果のとおりである。</p> <p>また、我が子からカミングアウトされた親も、我が子のあり方や自分の親としてのあり方を否定したり悩んだりすることが多く、相談相手がないまま孤立してしまう。</p> <p>さらに、社会における様々な制度や仕組みの不備なども課題である。教育現場だけでなく、広く一般市民に向けての啓発活動が必要であることは明らかであることから、一般市民啓発用パンフレットを作成した。</p> <p>作成にあたっては、正しい概念を分かり易く伝えるため、岡山大学大学院保健学研究科の中塚幹也教授に監修を依頼した。市内の公民館や県内外の高校・大学、市民団体等に配布し「自分の性について初めて考えてみた」「性は多様であることがよくわかった」「性的マイノリティについてよくわかった」等の感想が届いている。</p> <p>b. 岡山市人権フェスティバルへのパネル出展 (添付資料 人権フェスティバルブース写真、作成パネル写真)</p> <p>性の多様性、性的マイノリティ、SOGIなどを解説したパネル10枚を作成。岡山市人権フェスティバルに出展した。市が主催する人権啓発行事で性的マイノリティの人権課題を訴える初の試みである。当日は雨で気温が低く、全体に入場者が少なめであったことは残念だったが、パネルの前で足を止める人、熱心に読む人の姿もあった。今後も出展するのであれば、足を止めた人と対話できるような仕掛けが必要だろう。ただ、入場者に声をかけたりアンケートに答えてもらったりする直接的な働きかけは当事者には難しい。パネル展のスタッフはアライに任せるなどの工夫が必要かもしれない。</p>										
<p>事業実施の体制 ・実施者名</p>	<p>1. 総括責任者 鈴木</p> <p>2. 個別事業責任者 八田 (各パンフレット・パネル作成)</p> <p>3. その他事業従事者 金平・野崎 (サロンでの当事者へのアドバイス・アンケート報告会企画運営)</p>										
<p>事業実施経過</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月～9月</td> <td>一般市民向け啓発パンフレットの編集・制作</td> </tr> <tr> <td>5月～12月</td> <td>教職員向け啓発パンフレットの編集・制作</td> </tr> <tr> <td>5月～2月</td> <td>毎月1回、当事者児童・生徒および親のためのサロン開催 (8月は教職員向けに開催)</td> </tr> <tr> <td>10月2日</td> <td>平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業「アンケート調査」 結果報告会の企画・開催</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	実施内容	5月～9月	一般市民向け啓発パンフレットの編集・制作	5月～12月	教職員向け啓発パンフレットの編集・制作	5月～2月	毎月1回、当事者児童・生徒および親のためのサロン開催 (8月は教職員向けに開催)	10月2日	平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業「アンケート調査」 結果報告会の企画・開催
月 日	実施内容										
5月～9月	一般市民向け啓発パンフレットの編集・制作										
5月～12月	教職員向け啓発パンフレットの編集・制作										
5月～2月	毎月1回、当事者児童・生徒および親のためのサロン開催 (8月は教職員向けに開催)										
10月2日	平成27年度岡山市市民協働推進ニーズ調査事業「アンケート調査」 結果報告会の企画・開催										

	12月4日	岡山市人権フェスティバルへのパネル出展
実施上で連携した団体とその内容	名称	期待される役割
	岡山大学病院ジェンダー・クリニック(中塚研究室)	パンフレット内容の監修
本事業を踏まえた、翌年度以後の予定	<input type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。 <input type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。 <input type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(教職員およびPTA等の研修を希望する各教育委員会・学校、公民館等一般向け講座などにおいては、プライド岡山から講師を派遣し、本事業で制作したパンフレットを活用して研修を実施していく予定。)	

平成28年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	学校現場を主とする性的マイノリティ支援啓発事業 ～教職員、児童・生徒から地域社会への啓発に向けて～
------------	--

<収入>

費目	金額	内訳
自己資金	144,435	
岡山市補助金決定額	576,000	
収入合計	720,435	

<支出>

費目	金額	内訳	証拠書類番号	
事業実施経費	人件費	147,600	サロン運営・相談スタッフ 90,000円 [@1,000円×3h×10日×2人=60,000円 @1,000円×3h×5日×2人=30,000円 パネルデザイン・製作 12,800円 [@800円×4h×1人=3,200円 @800円×2h×3人=4,800円 @800円×2h×3人=4,800円 人権フェスティバルスタッフ 20,000円 ・ @800円×5h×5人=20,000円 教職員用パンフレット発送事務・作業 24,800円 [@800円×2h×4人=6,400円 @800円×4h×2人=6,400円 @800円×3h×5人=12,000円	①
	報償費	60,000	教職員用パンフレットデザイン・レイアウト ・デザイン料（イラスト制作）20,000円 ・デザイン料（ライティング）20,000円 一般啓発用パンフレット ・デザイン料（レイアウト）20,000円	② ③ ④ ⑤
	委託料	108,000	教職員用パンフレットデザイン・レイアウト	⑥
	印刷製本	272,480	一般啓発用パンフレット 98,000円 （A3 二つ折り カラー 10,000部） 教職員用パンフレット 172,800円 （A4 8頁 カラー 8,000部） アンケート報告会チラシ 1,680円 （A4 700部）	⑦ ⑧ ⑨
	通信・運搬	83,750	教職員用パンフレット郵送料 @120円×26通=3,120円 @180円×446通=80,280円 @350円×1通=350円	⑩
				郵送先一覧 ⑩
				⑩

使用料・賃借料	9,530	サロン 会議室利用料 @650円×10回=6,500円 企画会議 会議室・プロジェクター利用 1,490円 企画会議 会議室利用料 1,540円	⑪～⑬ ⑰ ⑳
食糧費	596	サロン用お茶代 (2ℓペットボトル2本、紙コップ)	㉑
消耗品	38,479	パネル A1サイズ10枚 17,810円 パネル用ボード 6枚 1,813円 事務用品(コピー用紙・インク・封筒・ラベル等) 18,856円 ※内訳は別紙一覧	㉒㉓ ㉔ ㉕～㉗
計	720,435		

- (添付書類) 1. 領収書等支払を証する資料は費目ごとに分けて写しを添付してください。
2. 高額となる経費については、印刷した現物や証拠写真などを添付してください。